

平成 24 年 2 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 2 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：2.5% 悪化：48.8% DI 値：▲46.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：15.0% 減少：48.8% DI 値：▲33.8% ポイント









収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：46.3% DI 値：▲38.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 2 月末現在）

 30 以上	 10～30 未満	 10 未満～▲10	 ▲10 超～ ▲30 未満	 ▲30 以上
--	---	--	---	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲33.3	▲100.0	▲33.3	▲100.0	▲66.7	▲20.0	▲50.0	▲48.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲66.7	▲75.0	▲38.5	▲22.2	▲42.9	▲44.7	▲46.3
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	バレンタインは家庭での手作りが増え、組合員の売上は減少した。ショコラティエの存在する菓子屋や、有名なチョコレート菓子を持っている菓子屋で、チョコレートに付加価値を持たせられる組合員の売上は上がっている。	パン・菓子製造業
	1月度は+10%と好調な月商。特に年末が天候・海況ともに恵まれ、主力商材の鮮魚水揚げが順調であったことが最大の要因。2月度は28日時点で昨年同時期比▲10%程度の推移。降雪日・低温日が多く、山陽方面からの客足が鈍った。当館のオリジナル製品「オイルルーージュ・イタリアン」が海を越えて、スイスの世界経済フォーラム（通称：ダボス会議）1/27ジャパンナイト晩餐会で、世界のVIP500名に提供された。	水産食料品製造業
繊維工業	1月と同じ状況。組合員1名脱退のため、組合数が6社になり厳しくなった。	帆布製品製造業
	2月までは、まずまずの状況であったが、市況が悪いため予測通り3月に調整が入った。3月は見込み生産をするため在庫増になる予定。4月以降、販売が回復することを願っているが、しかし現状では厳しい状況。	下着類製造業
	加工賃は厳しいが、仕事が増え忙しい。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	建築業界の1月、2月は殆ど動きが無いので、それに伴い、我々の動きも悪化する。	製材業・木製品製造業 岩国市
	官公需も多少増加しているが、震災復興の木材が動き始めている。	製材業・木製品製造業 山口市
	下関地区では住宅着工戸数が若干増加したが、長門地区は依然として厳しい。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	概ね組合員の利益は減少している。他社と差別化が出来る特徴ある企業は、利益が好転している組合員もある。	印刷
	繁忙期が始まる2月も仕事量は減少。3月の引き合いも少なく、受注減は確実。	
窯業・土石製品	当初見込みは上回りつつ推移するものの前年比89パーセント。地区ごとの出荷状況は一地域のみが前年比を上回った。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。価格も安定して推移している。	生コンクリート製造業

	出荷量については、対前年比で骨材：８６％ 路盤材：７３％ 再生材：８６％ 全体では、対前年同月比：８２％。	砕石製造業
一般機器	３月中の発注はあるが、４月・５月の発注がいつも落ち込むので、４月・５月の景況は悪化するであろう。	一般機械器具製造業 岩国市
	若干の円安による景況改善の期待感はあるものの、厳しい状況は依然継続している。また、日銀のインフレターゲット設定による市況変化を期待するところでは。	一般機械器具製造業 柳井市
	業況は、特段大きな変化はないが、若干売上高の減少が認められる。	一般機械器具製造業 周南市
	全般的に前月と変わらず・円安傾向のため、輸入原材料（ガス関係）などが、半年前に比べて最高２０％アップしているという事業所がある。やはり先行きは不透明である。	一般機械器具製造業 防府市
	売上高は若干増加したものの、収益状況等は特に変化無し。	一般機械器具製造業 宇部市
	親会社の３月決算に向け、受注量がやや増加傾向にある。	
	商談案件は多いが、価格の低下、短納期対応等で中々受注までには繋がらない。金型製作の海外流出の話をよく聞くが、実際に中国で作成した価格が提示されている。韓国、中国への発注は、価格が安い理由からだが、品質的には日本製に比べよくないとの情報がある。精密製品以外は中国、韓国、東南アジアの現地調達が主流になっている。受注量は低迷しているが、一月度よりは設備稼働率が少し上がってきているので今後に期待する。先月同様に東日本大震災の影響による受注増加に対応する為に、休日返上で稼働している漁業関連の組合員もある。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	車両輸送機部門は完全に低迷の踊場域に入ってきた。新規案件の声が聞かれないのが残念である。また、精密加工部門でもキャンセルが相次ぎ、大幅な作業量不足が見込まれる経営状況になってきた。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	各業種とも経営環境は厳しいことには変わりはない。当地区は運送業と、自動車販売の中でも中古自動車販売は順調でやや回復基調である。	各種商品卸売業 周南市
	各業種とも経営状況は非常に厳しい。イラン情勢、増税問題等による不透明感が増している。	各種商品卸売業 山口市
	各業種とも売上、利益が減少しており、特に建築関係については地元業者への発注が官庁・民間ともに減少し苦慮している。関係機関に対策等の検討を、お願いしたい。	各種商品卸売業 下関市

小売業	業界の経営者の高齢化や後継者不足で店舗数が減少している。組合員の店も会員の減少や高齢化が大問題となっている。他店や量販店に出来難いサービスをする方向で考えていかなければならない。	化粧品小売業
	今年の冬は寒さが厳しかったせいか持ち込みの買取が少なく、市場の商品状況にも影響しているように思う。家電製品が依然としてとても厳しく、量販店との価格競争もあるが、なにより価格相場の変動が早いためになかなかむずかしい状況。来月は異動時期でもあり、幾分か期待している。	中古品小売業
	J R徳山駅再開発工事の準備工事が着手された。	各種商品小売業 周南市
	今年はいうう年のため2月が一日多いにもかかわらず、取扱高が増加していない。寒波により人手が減少したことが要因であれば、3月が待ち遠しい限りである。	各種商品小売業 山口市
	大型店の退店が相次ぎ、来店客数の減少が目立つ。	各種商品小売業 下関市
	2月は積雪が3日間あり、売上、客数共に前年を下回っている。	各種商品小売業 長門市
商店街	新規大型店オープン以来、商店街の生鮮品等のスーパー、地産販売所とも打撃が大きく売上の減少が続く、組合員の賦課金負担も苦言が出つつある。	萩市
	冬の寒さが厳しく、特に中高年中心の客層が町に出てこない為、人出がない。3月、震災イベントを開催する。また、空き店舗対策として補助申請を行う。	山口市
サービス業	1月に続き2月も寒くて客足が伸びず、卒業式や婚礼等もありお出掛けの機会が多い季節の3月を楽しみにしている。	美容業
	円高が大きな原因で、社会に影響が大きい。身だしなみやお洒落に回らない、守り一方のデフレで来客数が落ち込んでいる。	理容業
	整備専門工場の廃業が増加傾向にある。整備業界を取り巻く経営環境が厳しくなっている中で、事業者の高齢化、後継者不在、整備技術高度化への対応困難、顧客の減少による収益の悪化等が直接の原因として考えられる。	自動車整備業
	3月までは改善していくが、4月以降は不透明な部分がある。	
	2月と状況変わらず。システム開発案件が非常に少ない状況で、だんだん深刻化している。ただ、年度末に向けて案件は若干増えているが先行きの不透明感は変わらない。模索状態が続いている。	情報サービス業 宇部市

	<p>厳しい状況がますますひどくなっている感がある。中小企業の設備投資はあるのだろうか。</p>	<p>情報サービス業 萩市</p>
	<p>脱退者もあり、状況は良くない。</p>	<p>屋外広告業</p>
	<p>1 業界内の温度差がますます顕著になった。組合員の廃業店に大手チェーン店が進出。低価格攻勢により既存店の不振に拍車を掛けている（湯田温泉等）。大手チェーン店進出の無いところは廃業店を既存店が吸収し、何とかバランスを保っているが、消費の底上げには至っていない。</p> <p>2 東日本大震災復興景気の余波はいつ訪れてくるのか。仙台のミニバブルの話は話題にはなるが、県下にはまだ影響が見られない。ただし、転勤等異動時期が早まったともとれる歓送迎会の予約があるとの情報もある。学生のコンパ、謝恩会等の動きもあり、地域による格差もあるようだ。</p> <p>3 食材の値上げに営業経営がついて行けないところもある。天候による食材の値上げが確実に起きている。また、ふぐの消費も思ったほどでなく、可処分所得の回復が切望される。</p> <p>4 景気低迷のなか対前年比に特に変化なし。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>全体としては5%の宿泊客数の増加をみたものの、組合員間の格差が広がった。</p>	<p>旅館業 萩市</p>
	<p>相変わらず厳しい状況。日帰りの観光客は、増えているが、昼食等の金額は下がったままで、お土産も高額品は出ない。宿泊に関しては、直前の予約が多く、お客様自身の余裕のある行動が取れない状況が窺える。売上の予測が、早期に出来ない状況である。NHK大河ドラマの地域への影響は、感じられない。売れる商品も、価格が安いものが多い。ビジネス客の出張も宿泊が減少している。「それにしても、よい話が無さ過ぎる。明るい話題が、どんどんあれば、気持ちが行楽にも向く。景気回復を待っている」との意見が多い。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
建設業	<p>一気に仕事がなくなってきた感がある。仕事を抱えているところと、そうでないところがはっきりとわかれた。</p>	<p>鉄骨工事業</p>
	<p>中電への工事申請1月248件（当支部分207件）前年同月254件（同187件）。太陽光発電への申請23件、オール電化申請35件（前年は太陽光26件、オール電化30件）。LED街路灯への切替・新設申請は77件。受注状況は順調だが、天気が少し悪く工事が遅れ気味となっている。</p>	<p>電気工事業</p>

	地域間で工事量のバラツキが大きい。元請業者が安価受注の為、社会保険加入等法を守っている専門請負業者の採算が合わない状況は続いている。総合建築業者が多すぎるのではないだろうか。	左官工事業
	前市長が当選し、これで地元の方が知事になればもっと良くなると思う。	土木工事業 岩国市
	公共工事は相変らず減少しており、低入札の状況が続いている。建設業全体の工事量が減少しており、この状況が続けば、廃業、倒産等が出てくるのが懸念される。	土木工事業 柳井市
	周南市のうち、旧徳山や新南陽には沢山出ているのに、熊毛地域の公共工事0円。	土木工事業 周南市
	2月の受注高は、対前年同月比52%。今年度の累計は、対前年比71%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は内需・輸出とも横ばい状況の中にあって、燃料がジリジリ高くなる事に加えて、依然として運賃は上がらずの現状である。収益の前年対比は約14%の増。しかし、全体的に見て景気の低迷は免れない。円高により大企業の工場等が海外移転し、雇用面において大きな打撃を受けている。中小企業者と、そこに働く労働者がいる事に一考を願いたい。油関係は0.7円の値上げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	2月輸送稼動も昨年以上の数字は残せている。しかしながら、震災以前の水準程度に戻ったに過ぎず、好況には程遠い。2月半ばより円安基調が続いており、このまま続くようであれば少しは期待が持てる。燃料価格は高止まりから高騰の兆し。2月に入り、世界情勢の絡みもあり、急速に原油価格は高騰している。	一般貨物自動車運送業 防府市
	先月に引き続き売上高が低迷している。宇部にある本社以外に5か所の営業所、出張所を持っていたが、一番遠方にある茨城営業所を2月末で閉鎖することを決めた。閉鎖の最大の理由は山口県から関東以北に荷物を運んでも全くペイしないからである。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	24年1月は休日が多く天候不順のため、運行状況は悪くETC利用も最低で当組合が500万円を切り、始めて公団より割引料0円との通知があった。燃料も2月25日より4円上がり、トラック業界は最悪を迎えた気がする。世界の情勢が不安定であることで、日銀が応急処置とした円安は株価に一番の効果がもたらされたようだ。これで国内景気が上がれると思うが、先は読めない。組合員の話で企業の再編成で売上減で増益と言う企業があるが仕事は減少したと話している。	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比マイナス3.4%（1月1日～2月20日分）でした。1月1日～31日分はマイナス4.5%と減少、2月1日～20日分についてはマイナス1.7%でした。今年の2月は29日あるので、月間取扱い金額はほぼ前年分になると思われませんが、光地区における半導体関連企業の廃止、出光興産の製油事業撤退、東ソーの爆発事故など、明るい要素が見出せない状況が続いている。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。イラン問題等でブタンのCP2月分は大幅に急騰、輸送用C重油も上昇している。タクシー会社の購入単価は、前月よりも大幅に上昇した。昨年11月～今年2月が特別大幅高騰した事があり、2月分の単価は前年同月比では僅かにマイナスですが、3月以降の値上がりは必至と思われる。消費税増税の機運が高まっているが、現在の景気状況では、増税分の転嫁ができない企業、納税できない企業が多く発生すると思われ、今後ますます国内景気が悪化すると懸念される。東ソーの事故の復旧等、新たな事業が早く開始される事が切望される。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>荷役の取扱量としては、大きな変化はないが、荷動きは若干感じられる。荷役の取り扱い種類の内容の詳細は把握してないが、移出（国内の他の港へ出荷すること。）の割合が少し目立つ。但し、化学肥料等の出荷など、季節的要因も考えられる。3月も引き続き季節的要因による、若干の取引の伸びはあるかも知れない。</p>	港湾運送業